

令和7年2月

費目別指数変化率寄与度

分類	指数、上昇率	ウェイト※2	指数	対前月上昇率(%)	寄与度 ※1	対前年同月上昇率(%)	寄与度
総合	合	10000	109.9	▲ 0.5		3.8	
食料		2583	125.6	▲ 0.7	▲ 0.16	9.0	2.19
(生鮮食品を除く食料)		2221	122.5	0.1		6.7	
住居		1947	102.0	0.0	0.00	0.0	0.00
光熱・水道		683	110.0	▲ 4.1	▲ 0.25	5.7	0.37
家具・家事用品		396	117.5	▲ 0.6	▲ 0.02	4.7	0.18
被服及び履物		382	103.9	▲ 0.1	▲ 0.00	2.1	0.08
保健医療		488	104.6	0.1	0.00	1.2	0.06
交通・通信		1605	98.1	0.0	0.00	2.4	0.36
教育		342	104.5	0.3	0.01	0.1	0.00
教養娯楽		865	111.5	0.3	0.02	2.0	0.16
諸雑費		710	104.3	0.1	0.01	0.5	0.03
生鮮食品を除く総合		9639	108.6	▲ 0.3		3.0	
持家の帰属家賃を除く総合		8750	111.2	▲ 0.5		4.3	
生鮮食品及びエネルギーを除く総合		8918	107.8	0.0		2.8	
エネルギー		721	118.5	▲ 3.7		5.8	

【注意】

※1 寄与度とは、物価全体の動きに対して各項目がどの程度影響しているかを表す数字であり、以下の計算式によって算出されます。

$$\text{項目Aの寄与度} = \frac{\text{当期の項目Aの指数} - \text{前期の項目Aの指数}}{\text{前期の総合指数}} \times \frac{\text{項目Aのウェイト}}{\text{総合のウェイト}} \times 100$$

※2 ウェイトとは、家計の消費支出全体に占める支出金額の割合のことです。

総務省の家計調査の結果をもとに、都道府県庁所在市ごとに算出されています（5年に1回改定されます）。

ウェイトの数値が高いほど総合指数への影響が大きいことを表します。本表の数値は岡山市におけるウェイトです。

※3 変化率及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合があります。